



ぼくは
とくべつ



sample



さく.
ガリーどちえん



ぼくは
としべつ



さく・がりーど ちえこ

ぼくは フィクー。

とう かあ ま しろ
父さんも母さんも真っ白なのに、ぼくは いろ むらさき色だ。

おとうと
弟のココは しろ 真っ白だ。

ひ おも
ある日、ふと思った。

どうしてだろう、、、

どうして ぼくだけ むらさき なんだろう？





「ねえ ^{かあ} 母さん、どうしてぼくは むらさき なの？

^{とう} 父さんも ^{かあ} 母さんも ^ま 真 ^{しろ} 白なのに、、、」

「どうしてかしら？

フィクーが おなかにいた時、^{とき} 母さん ^{かあ} ぶどうばかり ^{まいにち た} 毎日食べてたの。

だからかもしれないわ」

そうか、、、だから ^す ぼくは ぶどうが好きなんだ。

でも、それで ^{いろ} むらさき色になるかな？





Some
Air An
in mind
save the
You need help from abo
can be by your side
donation can help
le. Donate today



「ねえ ^{とう}父さん、どうしてぼくは むらさきなの？

^{とう}父さんも^{かあ}母さんも^ま真っ^{しろ}白なのに、、、」

「う～ん、そうだなあ。^{かあ}母さん ^{はな}セージの^す花が好きだろう？

^{かあ}母さんが ^{とき}おまえをうんだ時、

^{びょうしつ}病室の^{まど}窓から^{ばたけ}セージ^み畑が見えたんだ。

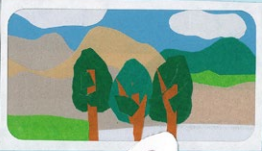
^{びょうしつ}病室は^{はな}セージの花でいっぱいだった。

^{とう}父さん、^{まいにち}毎日^も持^いって行^いったんだよ」

ふ～ん でも、、、

それで ^{いろ}ぼくが むらさき色になるかな？





sample



「おっ、どうした？ フィクー。 ^{げんき}元気がないね」

「マノロおじいちゃん、どうしてぼくは むらさき なんだろう？
^{とう}父さんも^{かあ}母さんも^ま真っ^{しろ}白なのに」



「なにか むらさき色で困ったことでもあるのかい？」

「とくにないけど、、、」

「フィクーも白くなりたいのかい？」

「そんなことはないけど、、、」

「じゃあ いいじゃないか。フィクーは むらさきでステキだぞ。

わしは むらさきのフィクーが、好きだがな」

sample



「フィクー〜！」

「あっ ジャン！」

「ジャンのおばあちゃん、こんにちは」

「あら フィクー、ちょうどよかった。とりたてのトマト^も持^いって行って。
お母^{かあ}さんにおみやげだよ」

「ありがとう。 ねえ おばあちゃん、父^{とう}さんも母^{かあ}さんも真^まっ白^{しろ}なのに、
どうしてぼくだけ むらさき^{いろ}色なんだろう？ おばあちゃんなら わかる？」

「さあ、、、トマトも青^{あお}いのもあれば赤^{あか}いのもあるよ」

「でも、青^{あお}いのもじゅくせば赤^{あか}くなるでしょう？」

「そうだねえ、、、」





「フィクー、見てごらんよ。

こっちのナス、^{しろ}白いのも ^{むらさき}むらさきのもあるよ」

「お日^ひさまを いっぱい^あ浴びたナスは きれいな ^{むらさき}むらさきだけど、

^は葉っぱのかげのナスは^{しろ}白いんだよ。フィクーもお日^ひさまをいっぱい

^あ浴びたんじゃないのかい？ ^{わたし}私は^{げん}元気でいいと思うよ。

フィクーは ^{いろ}むらさき色で」

「そうだよ。フィクーは ^{むらさき}むらさきがいいよ」





「アース なにしてるの？」

「^え絵をかいてるの。 ^{はな}だってお花 とってもきれいなんだもの」

アースは^{いちばんとしうえ}一番年上だから わかるかな？

「ねえ アース、どうしてぼくだけ ^{いろ}むらさき色なんだろう？

^{とう}父さんも^{かあ}母さんも^ま真っ^{しろ}白なのに」



「そんなこと わからないわ。 ^{はな}フィクー、どうしてこのお花ピンクなの？」

「さあ、、、」

「どうしてこのお花は^{はな}^{きいろ}黄色なの？」

「さあ、、、」

「でしょ？ わからないこと いっぱいあるわ。 わからなくなたっていいじゃない？」





「ねえ ^{とう}父さん。 どうしてぼくは むらさきなの？
^{とう}父さんも ^{かあ}母さんも ^ま真っ^{しろ}白なのに」



「フィクー、ずっと^{かんが}考えていたのかい？」

「うん」

「そうだなあ フィクーは とくべつなんだよ、きっと」



「とくべつ？」

「そうさ。 とくべつな^ひ日、とくべつな ごちそう。

とくべつは、とってもいいことだよ。

^{きょう}今日はとくべつな おやつらしいぞ。

^{かあ}母さんがトマトのケーキ^{つく}を作っているよ」





「トマトケーキ できたわよ～」

「ジャンおばあちゃんのトマトで？」

「そうよ。 ほら、とっても おいしそうでしょう？」

「わあ～ おいしそう～ いただきま～す」





トマトケーキはとってもおいしかった。

だから ジャンとジャンのおばあちゃんにも おすそわけをした。

「母さん ^{かあ} こんどは もっと ^{おお} 大きい ^{つく} のを作ってね。

みんなにも ^た 食べさせてあげたいな、 “とくべつ” な ケーキ」

sample





いしだえほん No.0138

ぼくはとくべつ

2019年5月24日 初版発行

さく **がりーど ちえこ**

印刷・製本・発行 **石田製本株式会社**

〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31

TEL 011-676-4520

<http://i-bb.co.jp/>

©2019 Chieko Garido / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909939-37-1

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehons/>

ISBN978-4-900939-37-1
C897J ¥1200E

定価：本体1,200円+税



9784909939371



1928771012000

